

1. 今日から、摂陽小学校『 秋の読書週間 』始まる！ ～11月27日（月）から12月8日（金）まで～

○読書週間の歴史について

終戦まもない1947年（昭和22）年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

そして『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことはわかりありません。

暮らしのスタイルに、人生設計のなかに、新しい感覚での「本とのつきあい方」をとり入れていきませんか。

『読書週間』が始まる10月27日が、「文字・活字文化の日」に制定されています。

今年度も、この読書週間にちなんで摂陽小学校での「秋の読書週間」が始まります。

秋が深まり、読書がぴったりの季節。ぜひみなさんに「読書」を楽しんでもらおう、と図書委員会が中心となって計画されたものです。

内容は、図書室に先生たちと図書委員が選んだおすすめの本を展示したり、図書委員の児童による図書室クイズを実施します。

この期間中に、チャレンジ読書（テーマに決められた本を自分で選び、一言感想を記入する）に取り組んだ人には、「もう1冊貸出カード」がプレゼントされます。また、図書クイズの正解者やしおり券が入っている本（20冊）を見つけて借りて最後まで読み、カウンターで内容が言えたら、しおりがプレゼントされるなど様々な企画がされています。

この機会に、一人でも多くの児童がふるって参加してくれることを期待しています。

